

眼科に通院中の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名]

遷延型 Vogt-小柳-原田病患者における眼炎症再燃時のアダリムマブ加療の実態調査

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 眼科 南場 研一

[研究代表機関名・研究代表者名・所属] 防衛医科大学校病院 眼科 竹内 大

[共同研究機関名・研究責任者名]

北海道大学病院	眼科	南場研一
東京大学病院	眼科	蕪城俊克
横浜市立大学病院	眼科	水木信久
大阪大学病院	眼科	丸山和一
淀川キリスト教病院	眼科	中井 慶
ローザンヌ大学病院	眼科	Carl P. Herbort Jr.

[研究の目的]

アダリムマブがどのような遷延型 Vogt-小柳-原田病に対して有効であるのか、そしてどの程度まで視機能の回復、ぶどう膜炎の寛解が得られるかを把握するため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

遷延型 Vogt-小柳-原田病の患者さんで、2016年4月～2020年3月に、アダリムマブの治療を受けている方

○利用するカルテ情報

1. 眼炎症が増悪した日
2. 疾患眼（右眼・左眼・両眼）
3. アダリムマブ投与開始時の矯正視力
4. アダリムマブ投与開始後6ヶ月目の矯正視力
5. アダリムマブ開始時の眼所見および治療内容（重複回答あり）

- ① 前房フレアー値
 - ② 中心窩下脈絡膜厚
 - ③ インドシアニンググリーン蛍光眼底造影スコア
 - ④ 内服プレドニゾロン量： g/日
 - ⑤ 免疫抑制薬：薬剤名と投与量
 - ⑥ その他の治療薬
6. アダリムマブ投与開始後6ヶ月目の所見（重複回答あり）
- ① フレアー値
 - ② 中心窩下脈絡膜厚
 - ③ インドシアニンググリーン蛍光眼底造影スコア
 - ④ 内服プレドニゾロン量： g/日
 - ⑤ 免疫抑制薬：薬剤名と投与量
 - ⑥ その他の治療薬

この研究は、遷延型 Vogt-小柳-原田病の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、統計解析のために防衛医科大学校病院に郵送・宅配で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2023年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院眼科 担当医師 南場 研一
電話 011-706-5944 FAX 011-706-5948